

\*\*\*\*\*

**【編集後記】**『現象と秩序』第16号をお届けします。この度、『現象と秩序』を複数のWEBサイトに掲載する公示（オプト・アウト機会の保障の公示）をいたしました。今後、本誌を複数のWEBサイトで掲載していくということに関する公示です。詳しくは本誌91～92頁をご確認いただき、本件にご了承いただけない著者の方は、2022年8月末日までに下記「現象と秩序編集企画室」までお申し出ください。なお、お申し出のない場合は、ご了承いただけたものとさせていただきます。

さて、今回もスポーツ社会学や言語学等、多様な分野の専門家からご寄稿いただきました。

第1論文は、パラリンピック選手のとあるポスターに記された「障害は言い訳にすぎない」という文言をめぐるディスコース分析です。機能的クラス分け制度のあり方を中心に、いまだ残る課題についても論じられています。

第2論文は、看護師を“辞めた”人びとのキャリア形成に関するインタビューとその分析です。いかに、かれらの人生に看護師経験が生きているかを丁寧に考察しています。

第3論文は、ある高齢者が、アマゾン社のエコーショーという機械（その中には「アレクサ」というAI [人工知能] が棲んでいます）を用いて、遠隔地にいるお孫さんと交流する実験のときに何が起きたか、のビデオ・エスノグラフィーです。「支援」というものの難しさ、「学習」をモニターするということの困難がもの見事に描かれています。教育社会学の成果としても読むことができるでしょう。

第4論文は、「郭中奇譚」（江戸板）と「異本郭中奇譚」（大坂板）における罵りの助動詞を比較・分析したものです。方言を意識した置き換えのみならず、その地方ならではの内容への改訂の結果、複数の罵りの助動詞が使用されるようになったようです。

今回もぜひご堪能ください。（H.Y.）

\*\*\*\*\*

『現象と秩序』編集委員会（2021年度）

編集委員会委員長：堀田裕子（愛知学泉大学）

編集委員：樫田美雄（神戸市看護大学）、中塚朋子（就実大学）

編集幹事：川上陵哉（神戸市外国語大学）

編集協力・印刷協力：村中淑子（桃山学院大学）

『現象と秩序』第16号                      2022年 3月31日発行

発行所 〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 樫田研究室内 現象と秩序企画編集室

電話・FAX) 078-794-8074（樫田研）， e-mail: kashida.yoshio@nifty.ne.jp

PRINT ISSN                                      : 2188-9848

ONLINE ISSN                                     : 2188-9856

<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>